

地理 B

(解答番号 ~ , 全問必答)

第1問 世界と日本の自然環境と自然災害に関する次の問い (A・B) に答えよ。

(配点 20)

A ハルキさんとハナエさんたちのクラスでは、いくつかの大陸の自然環境について班別に調べ、発表を行うことになった。次の図1をみて、発表に関する後の問い (問1~4) に答えよ。

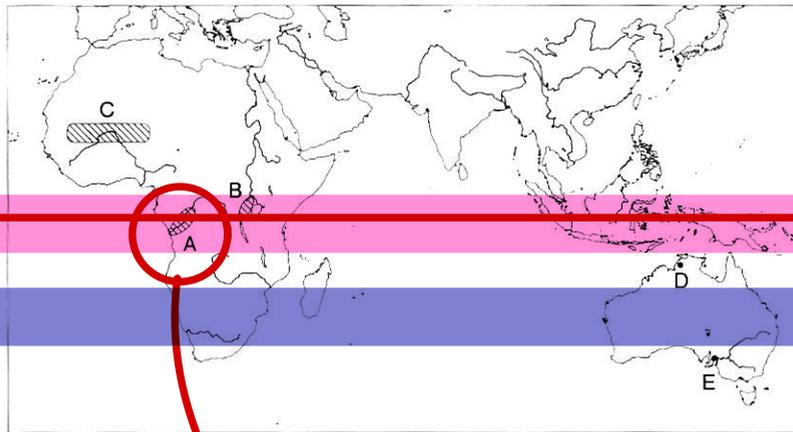


図1
赤道が通るコンゴ盆地

問1 ハルキさんたちの班はアフリカ大陸を調べ、赤道付近の自然環境に着目し、図1中のAとB付近の自然環境についてまとめた。AとB付近の自然環境を説明した次の文アとイについて、正誤の組合せとして正しいものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

ア Aは低平な盆地を流れる大河川の下流部で滝や急流が連なり、河川の周囲は常緑広葉樹の密林が広がる地域となっている。

イ Bは安定陸塊上に高原が広がっており、地殻変動が不活発なため地震や火山活動がほとんどみられない地域となっている。 ✕

熱帯雨林

アフリカ大地溝帯

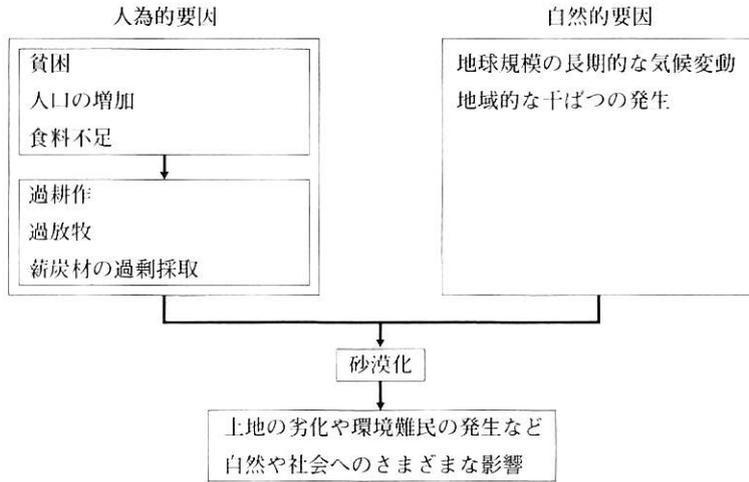
	①	②	③	④
ア	正	正	誤	誤
イ	正	誤	正	誤



標高6,000m近いキリマンジャロや標高2,000mのエチオピア高原

断層湖であるビクトリア湖、タンガニーカ湖、マラウイ湖も合わせて覚えておこう

問2 次にハルキさんたちは、図1中の地域Cについて調べると、砂漠化の進行が深刻なことを知り、その過程を次の図2のようなフローチャートにまとめた。フローチャートをみながら、図1中の地域Cの砂漠化について考察した内容として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

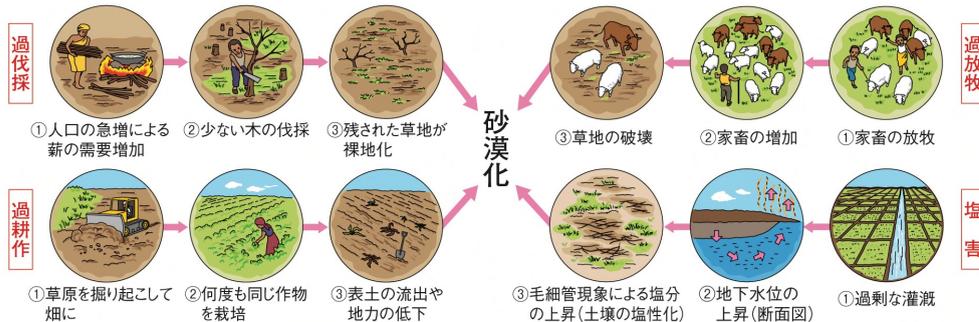


『砂漠と気候』などにより作成。

図 2

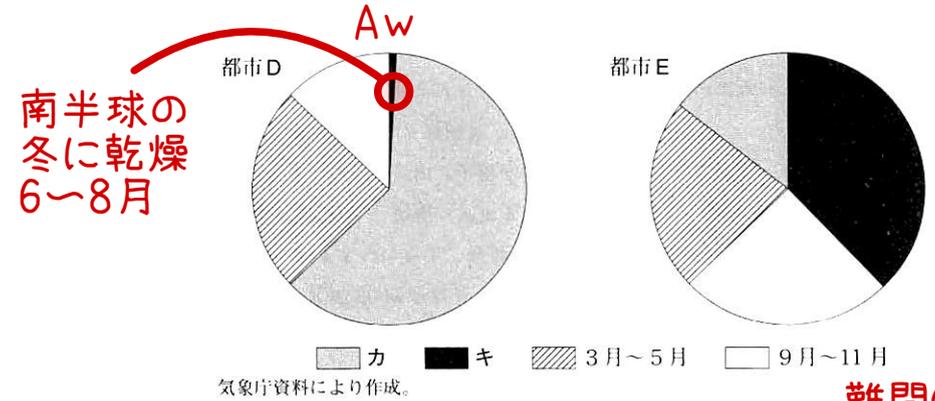
班員の考察

- ① 耕地が拡大することによって土壌侵食が発生しやすくなるだろう。
- ② 過放牧で草地在破壊されることによって土壌が乾燥しやすくなるだろう。
- ③ 植生が減少することによって生物多様性の損失につながるだろう。
- ④ 土地の劣化を防ぐために地下水をくみ上げて灌漑を行う必要があるだろう。



ケッペンの暗記問題

問3 ハナエさんたちは降水の季節的特徴について興味を持ち、図1中の都市DとEを比較するために3月～5月、6月～8月、9月～11月、12月～2月の4つの期間にわけて降水量の割合をグラフにした次の図3を作成した。図3中のカとキは6月～8月または12月～2月のいずれかである。カの期間と、都市Eのキの期間の降水に影響を与える要因との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 3



気象庁資料により作成。

図 3

難問③か④まで絞ればOK

	カの期間	都市Eのキの期間の降水に影響を与える要因
①	6月～8月	熱帯収束帯
②	6月～8月	前線帯の接近
③	12月～2月	熱帯収束帯
④	12月～2月	前線帯の接近

問4 ハナエさんたちの班は、次の図4に示した北アメリカ大陸の自然環境についても調べて、持ち寄った資料をみながら話し合った。ハナエさんとタクトさんたちとの会話文中の空欄X～Zにあてはまる語句の組合せとして最も適切なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 4

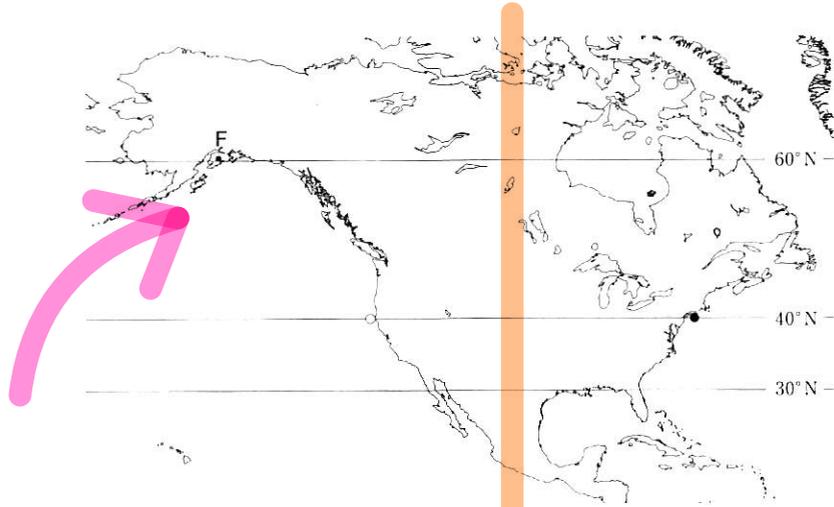


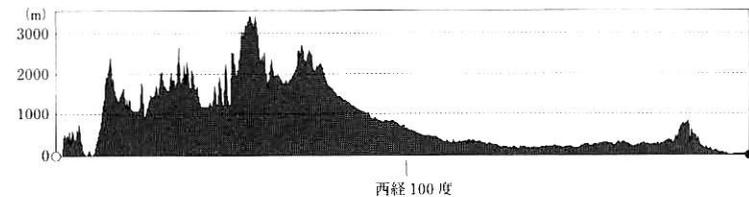
図 4

資料1 都市Fの月平均気温 (単位:℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温	-3.0	-1.6	-0.7	3.4	7.5	10.8	12.6	12.2	9.1	4.7	-0.2	-1.7

気象庁資料により作成

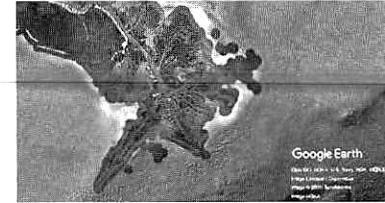
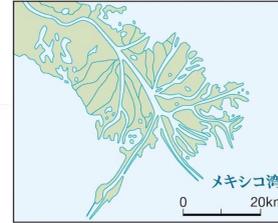
資料2 北緯40度付近の地形断面図



水平距離に対して垂直距離は強調して表現してある。

Hey Whats That Path Profilerにより作成。

b) 鳥趾状三角州
(アメリカ ミシシッピデルタ)



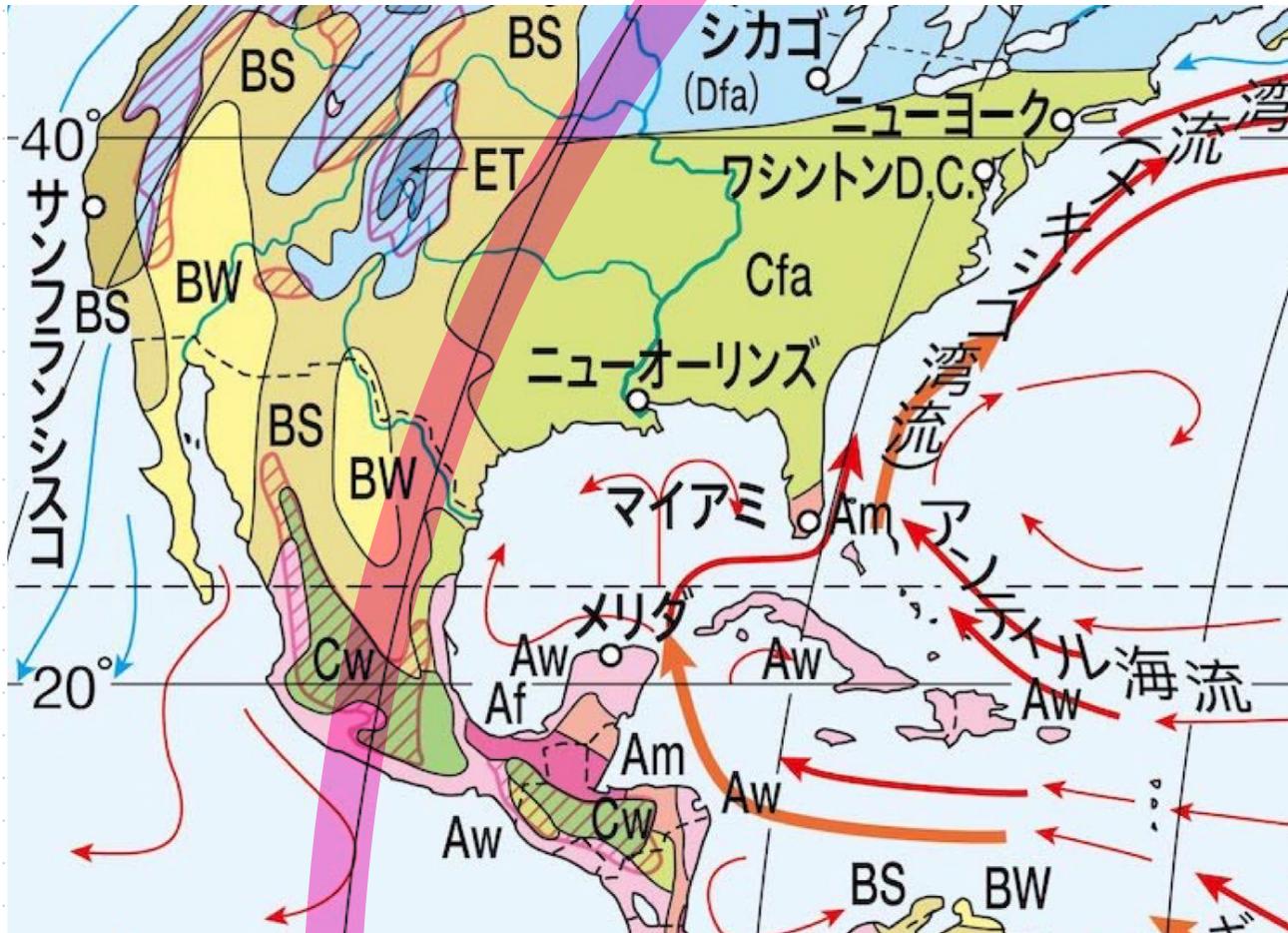
Google Earth Proにより作成。

写真 1 ミシシッピ川河口の写真

- ハナエ 「私は北緯 60 度付近にある都市 F の気候を調べてみたよ。資料 1 をみると、緯度が高いわりに冬の気温はそんなに低くないね」
- タクト 「それはおそらく、(X) からではないかな」
- ヒロシ 「なるほど、気温は緯度以外にも影響を受けているんだね」
- タクト 「北緯 40 度付近の地形断面図をつくってみたんだ。資料 2 をみると西部は新期造山帯の険しい山脈があることがわかったよ」
- ハナエ 「北緯 40 度線上の植生の変化を、イラストにして書き込むとおもしろそうだね」
- タクト 「資料 2 で、西経 100 度より東の地域では (Y) というように、植生が西から東へと変化しているんだよ」
- ヒロシ 「北緯 30 度をたどって見て、ミシシッピ川の河口付近に特徴ある地形をみつけたよ。写真 1 をみてほしいんだ」
- ハナエ 「これも三角州 (デルタ) の一つだね」
- ヒロシ 「ミシシッピ川は大量の土砂を運搬するんだけど、(Z) ためにこんな形をした鳥趾状三角州ができるんだ」
- タクト 「みんなで北アメリカ大陸の自然環境について学べてよかったよ」

河川の流れが弱く、沿岸の潮流も弱い。そのため土砂が溜まってしまふ。

	X	Y	Z
①	沖合に暖流が流れている	タイガ→プレーリー→硬葉樹林	沿岸流が弱い
②	沖合に暖流が流れている	タイガ→プレーリー→硬葉樹林	沿岸流が強い
③	沖合に暖流が流れている	ステップ→プレーリー→混合林	沿岸流が弱い
④	沖合に暖流が流れている	ステップ→プレーリー→混合林	沿岸流が強い
⑤	フェーン現象が発生しやすい	タイガ→プレーリー→硬葉樹林	沿岸流が弱い
⑥	フェーン現象が発生しやすい	タイガ→プレーリー→硬葉樹林	沿岸流が強い
⑦	フェーン現象が発生しやすい	ステップ→プレーリー→混合林	沿岸流が弱い
⑧	フェーン現象が発生しやすい	ステップ→プレーリー→混合林	沿岸流が強い



西経100度は頻出

西側はBWでグレートプレーンズが広がる。

東側はBS→Cfaで冬小麦の生産が盛ん。

乾燥と湿潤がぶつかるので、トルネード(竜巻)の発生が世界一

B 世界と日本の自然災害に関する次の問い（問5・6）に答えよ。

問5 アジアの自然災害について調べることになったハナエさんたちのクラスでは、次の図5中のP～Sの4つの地域で発生しやすい自然災害について考察し、後のカードを作成した。カード中の①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 5

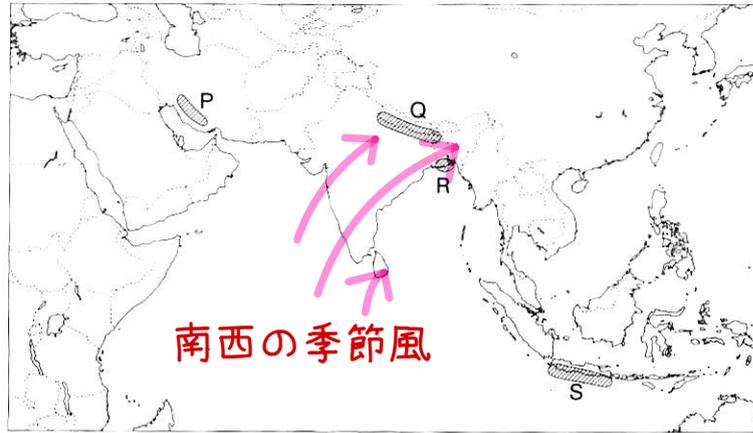


図 5

インドのモンスーンは共テ頻出

P地域では新期造山帯に属する山脈に火山が多いため、火砕流などの被害が発生しやすいだろう。

①

Q地域ではモンスーンにより大雨が発生するため、急傾斜の斜面では土石流が発生しやすいだろう。

②

R地域では熱帯低気圧の接近によって、低平な沿岸部での**高潮被害**が発生しやすいだろう。

③

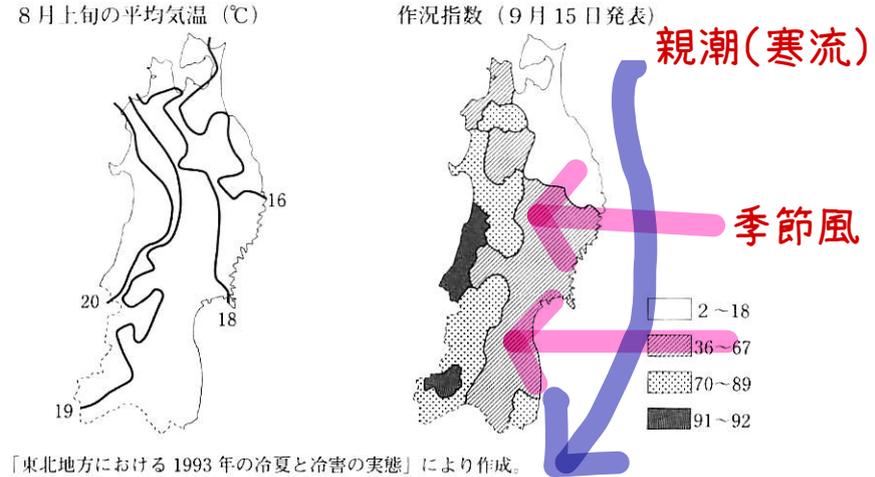
S地域では島嶼がプレート境界に沿っているため、海溝型地震による津波の被害が発生しやすいだろう。

④

高床式住宅が多い

問6 ハナエさんたちは日本の気象災害についても調べてみることになり、次の図6で示した1993年8月上旬の平均気温と東北地方の作況指数*の資料を参考に、「やませ」の特徴について話し合った。会話文中の下線部a・bについて、正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 6

*水田10aあたり年取穫量（年平均値）を100とし、その年の米の取穫量を示す数値。



「東北地方における1993年の冷夏と冷害の実態」により作成。

図 6

ヒロシ 「オホーツク海気団から吹き出すやませは、東北地方の太平洋岸を中心に低温をもたらすということがわかるね」

タクト 「太平洋側で低温になるということは、やませは a寒流の上を吹いてくる北東風と考えることができそうだね」

ハナエ 「図6をみると、作況指数が90を上回るのは bやませが奥羽山脈にさえぎられて8月上旬の平均気温が19℃以上を示した地域が大半だったことがわかるね」

	①	②	③	④
a	正	正	誤	誤
b	正	誤	正	誤

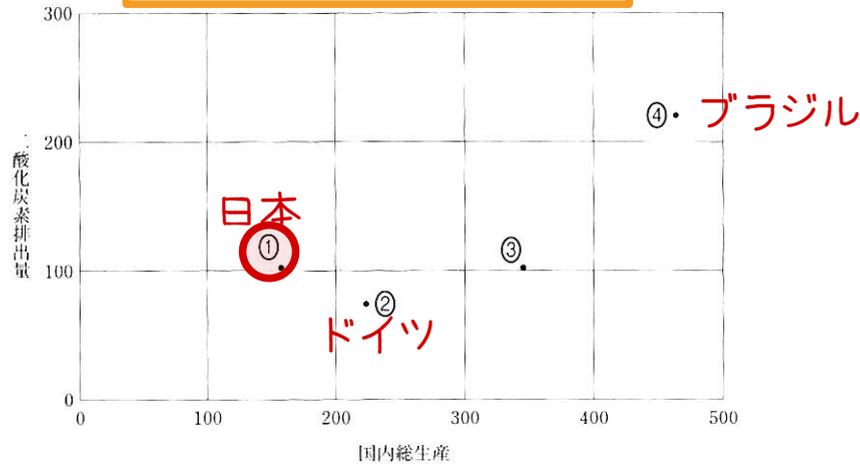
第2問 現代の暮らしと資源・産業に関する次の問い（問1～6）に答えよ。

（配点 20）

問1 脱炭素社会の実現に向けた動きが世界規模で進んでいる。次の図1中の①～④は、アメリカ合衆国、ドイツ、日本、ブラジルのいずれかの二酸化炭素排出量と国内総生産について、1990年の値を100とした指数で2018年の値を示したものである。日本に該当するものを、図1中の①～④のうちから一つ選べ。

7

先進国→環境意識が高い
BRICs→経済成長優先



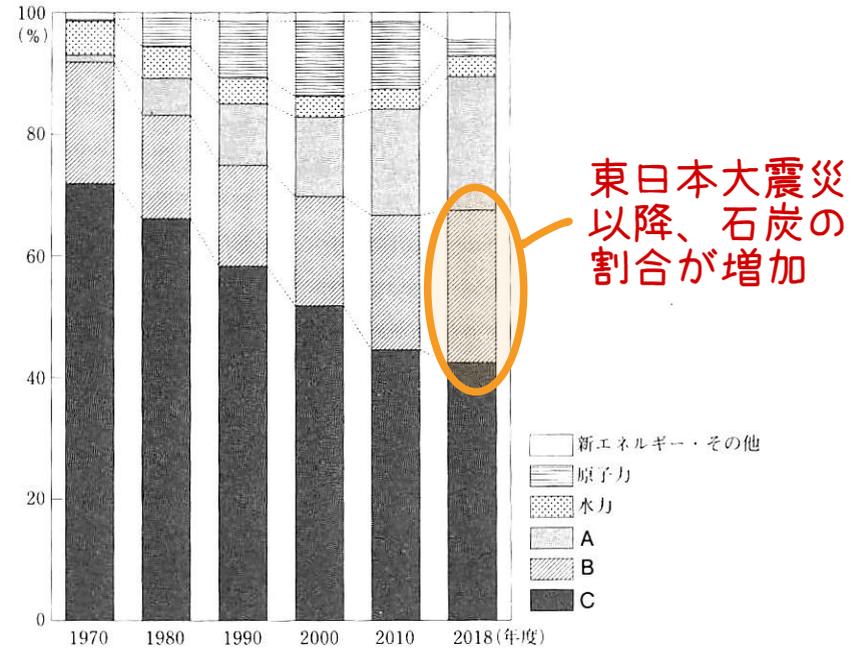
公益財団法人 矢野恒太記念会「世界国勢図会 2021/22年度版」により作成。

図 1

特に石炭火力発電に注力

問2 日本のエネルギーは依然として化石燃料に大きく依存している。次の図2は、日本の一次エネルギー供給構成の経年変化を示しており、図2中のA～Cはガス、石炭、石油のいずれかである。資源名とA～Cとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

8



「データブック オブ・ザ・ワールド 2021」により作成。

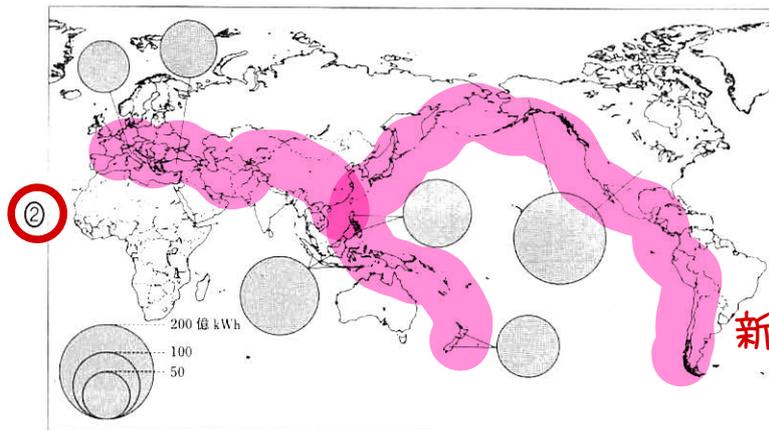
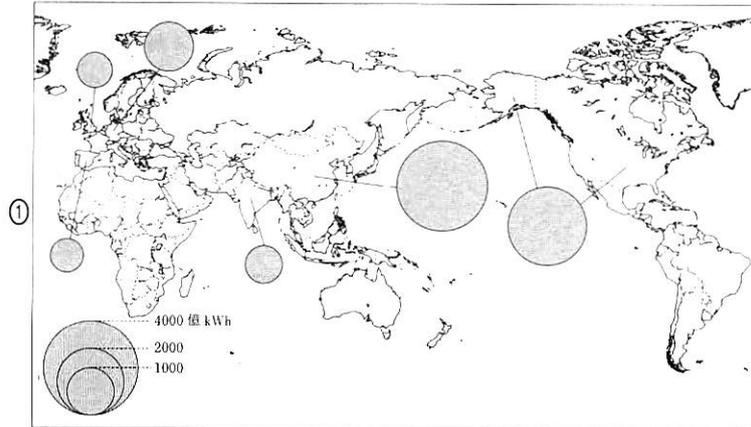
図 2

	A	B	C
①	ガス	石炭	石油
②	ガス	石油	石炭
③	石炭	ガス	石油
④	石炭	石油	ガス
⑤	石油	ガス	石炭
⑥	石油	石炭	ガス

問3 化石燃料の利用をおさえることが期待されるクリーンエネルギーの開発が各国で進められている。次の図3は、世界の発電量上位6か国とその発電量を示したものであり、図3中の①～④は太陽光、地熱、バイオ燃料、風力のいずれかである。地熱に該当するものを、図3中の①～④のうちから一つ選べ。

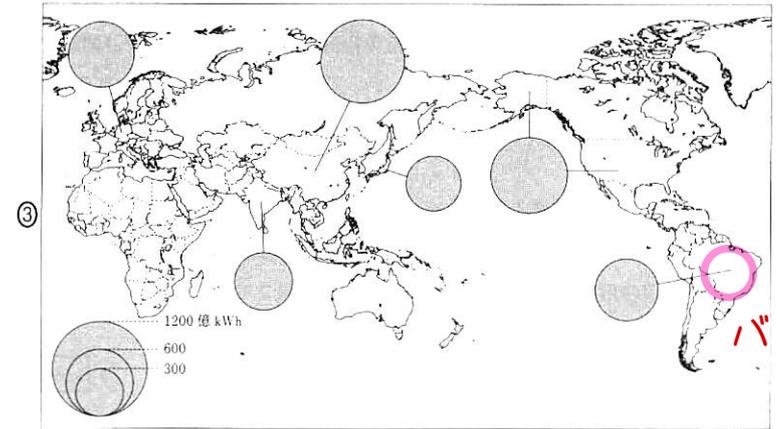
9

風力→大陸西側が有利

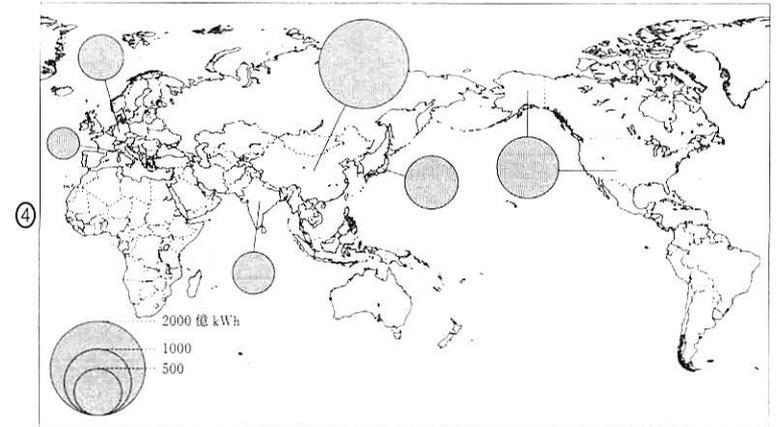


地熱

新規造山帯



バイオ

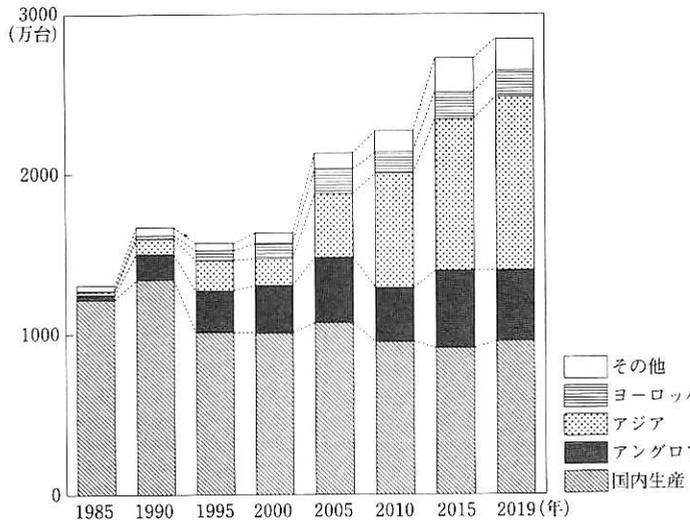


統計年次は2018年。
公益財団法人 矢野恒太記念会「世界国勢図会 2021/22年度版」などにより作成

図 3

地理 B ガソリン車の割合が高い日本企業はピンチ

問4 日本の自動車産業は、脱炭素社会の実現をめざす世界の潮流のなかで厳しい局面をむかえている。次の図4は、日本の自動車メーカーの国内外での自動車生産台数の推移を示したものである。図4から読み取れることがらとその背景を述べた文として誤りを含むものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 10



日本自動車工業会資料により作成。

図 4

- ① 日本の自動車メーカーは、1985年はほとんど国内生産であったが、2019年の国内生産はおよそ3割になっている。○ 円高
- ② 1985年以降アングロアメリカでの生産が増加したのは、日米間の貿易摩擦の緩和をめざして工場を現地に移したことによる。○ 特にメキシコが多い
- ③ 2000年以降中国やタイなどアジア各国での生産が急拡大したのは、1980年代以降の円高に加えアジア各国の経済成長で市場が拡大したことによる。○
- ④ 国内生産は1990年以降、おもにアジアからの技能実習生を受け入れたことで1000万台程度を維持できている。✕

ブラジルからの移民が多い

アメリカのテスラの本社は、シリコンプレインのテキサス州ダラス！

地理 B

問5 脱炭素社会をめざし、全世界でEV*シフトが進んでいるが課題も多い。このことについて述べた次の文章中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。 11

*電気自動車。

EVは電池(バッテリー)でモーターを動かすしくみであり、その普及にはバッテリーの容量を上げることでガソリン車に劣らない航続距離を得る必要がある。そのため、①蓄電能力が高い電池の開発が不可欠である。○また、エネルギー消費をおさえるために車体の軽量化を進める必要がある。主要な幹線道路など、各地に適切に充電スタンドを設置する必要もあるが、②日照時間が一定量に達しない地域では充電に多くの時間がかかるなど課題も多い。✕

EVの普及に伴いガソリン車に不可欠のエンジンや部品が減ると、③関連の工場が閉鎖され雇用が維持できない懸念がある。○また、ガソリンエンジンとモーターを併用したハイブリッド車などでこれまで培ってきた高い技術が受け継がれない懸念もある。これによりガソリン車が、全世界的なEVシフトで輸出先を失う心配もある。日本の場合、④EVシフトで電気の需要が増えるとそれが化石燃料の消費拡大につながりかねないため、脱炭素化と矛盾してしまうことも考えられるなど課題は山積している。○

問6 グローバル化の進展は地域間の物流を大幅に拡大させた。世界の海上輸送について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① 海上輸送のハブとなる世界の主要港湾には、コンテナ専用の岸壁やクレーン、コンテナを保管する広い用地が整備されている。○
- ② コンテナ取扱量の世界の上位港は、アメリカ合衆国やヨーロッパの港湾が多くを占めている。✕ 工業製品の輸出が多い国
- ③ 物流の拡大による船舶の大型化に対応し、スエズ運河やパナマ運河の拡幅が行われた。○
- ④ 温暖化により北極海航路の利用が現実味を帯び、物流の円滑化や時間短縮が期待されている。○

第3問 世界と日本の都市・村落・生活文化に関する次の問い（問1～6）に答えよ。
（配点 20）

問1 次の図1は、都市社会学者のE.W. バージェスが、1920年代のアメリカ合衆国のシカゴを参考にして提唱した、都市の内部構造の形態を示した同心円モデルである。図1について述べた文として下線部が適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 13

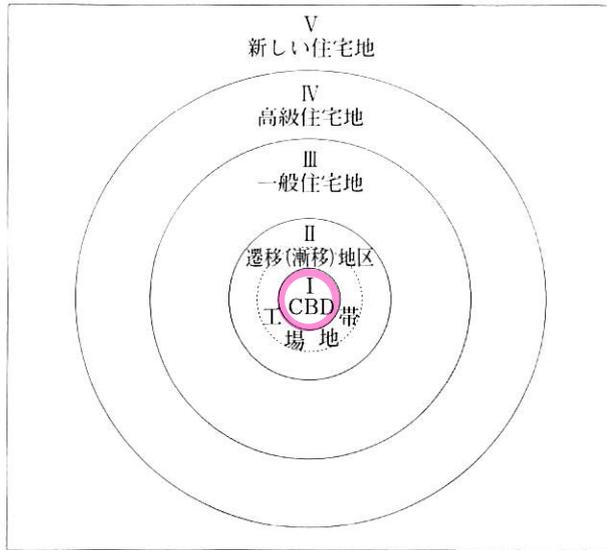


図 1

- ① Iは、官公庁や地代を負担する能力の高いオフィス街に加え、百貨店、高級商業地などがみられる。
- ② IIは、商業地、軽工業地、住宅地が混在し、また、スラム地区や労働力として流入した移民地区がみられる。
- ③ IIIは、IIにみられる就業地に近いため、IIの地区から転居した労働者などの住宅がみられる。
- ④ IVは、摩天楼と称される高層ビル街が形成され、高級アパートや戸建て住宅がみられることもある。 **CBD** X

買い回り品

インナーシティ問題→再開発

ドーナツ化現象

問2 次の写真1は、19世紀後半に広大な原野が開拓されたアメリカ合衆国中西部の村落地域を撮影したものである。写真1から読み取れることがらとそれにかかわることについて述べた後の文AとBの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 14



Google Earth Pro により作成。

写真 1
ホームステッド法

- A 写真1の特徴的な格子状の街路形態は、公有地分割制度のタウンシップ制の地割りを起源としたものに由来する。
- B 写真1のような特徴的な街路形態は北海道の条里集落に多くみられ、また、写真1のような散村は富山県の砺波平野にみられる。 X

	①	②	③	④
A	正	正	誤	誤
B	正	誤	正	誤

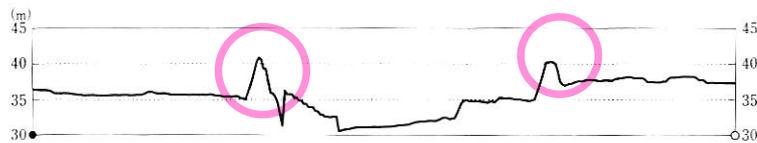
**北海道→屯田兵村
条里集落→奈良周辺
※班田収授法**

問3 次の図2は、山形県の最上川沿いの村落aを含む地域の航空写真であり、後の図3は、図2中の地点●と○を結ぶ直線に沿って、数値標高データを用いて作成した地形断面図である。村落aについて述べた後の文章中の空欄アにあてはまる語句と空欄イにあてはまる後の文bとcとの組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 15



地理院地図により作成。

図 2



水平距離に対して垂直距離は誇張している。地理院地図により作成。

図 3

図2をみると、最上川本流の（ア）に立地する村落aの東部には、最上川本流に合流するため南から流れてきた支流が形成した谷の出口がみられる。このため村落aは、この支流の氾濫による災害に繰り返し見舞われた。近年も大雨の際に多くの家屋が床上・床下浸水したことから、県の整備局と村落aの住民との間で災害対策が話し合われ、（イ）するという案で合意した。このような方策は、工期、費用の面から経済的であるため、日本各地で実施されている。

（イ）にあてはまる文

- b 集落の南部に新しく堤防を建設
- c 集落全体のかさ上げを実施

	ア	イ
①	後背湿地	b
②	後背湿地	c
③	自然堤防	b
④	自然堤防	c

三郷では「彦」と呼ばれる

問4 近年、日本の各地において居住者のいない空き家（別荘、賃貸用、売却用を除く）が増加している。このような空き家の増加によって生じる問題点として適当でないカードを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

不衛生な状態からの蚊、^は蠅、^{ねずみ}鼠などの発生・集中、悪臭の発生

①

不法侵入や不法占拠などに伴う犯罪リスクの高まり

②

ベビーブームからなる団塊の世代を含めた高齢者層の急増

③

老朽化による建物の倒壊・崩壊、屋根、外壁の落下の急増

④

問5 次の表1は、2015年と2060年（見通し）におけるキリスト教徒の人口が多い上位10か国とそれらが世界のキリスト教人口に占める割合を示したものである。表1中のカとキは2015年または2060年のいずれか、eとfはナイジェリアまたはメキシコのいずれかが該当する。2015年とメキシコとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 17

(下書き用紙)

地理Bの試験問題は次に続く。

表 1 2015年

順位	カ	キ
1位	アメリカ合衆国 (8.6)	アメリカ合衆国 (10.9)
2位	ブラジル (6.1)	ブラジル (7.9)
3位	e (5.7)	f (5.0)
4位	コンゴ民主共和国 (5.2)	ロシア (4.5)
5位	フィリピン (5.0)	フィリピン (4.1)
6位	f (4.2)	e (3.8)
7位	タンザニア (3.9)	コンゴ民主共和国 (3.2)
8位	ウガンダ (3.1)	中国 (3.1)
9位	ケニア (3.0)	エチオピア (2.5)
10位	エチオピア (2.9)	ドイツ (2.4)

人口爆発

()内の数値は、世界のキリスト教人口に占める割合、単位は%。
Pew Research Center 資料により作成。

	①	②	③	④
2015年	カ	カ	キ	キ
メキシコ	e	f	e	f

問6 中南アメリカ諸国では、それぞれの歴史などを背景に多様な民族・文化がみられる。次の図4は中南アメリカのいくつかの国の人種・民族構成を示したものであり、X～Zは図5中のサ～スのいずれかの国に該当する。また、後の文g～iは、図4中のX～Zのいずれかの国における歴史や文化について述べたものである。X～Zとg～iとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

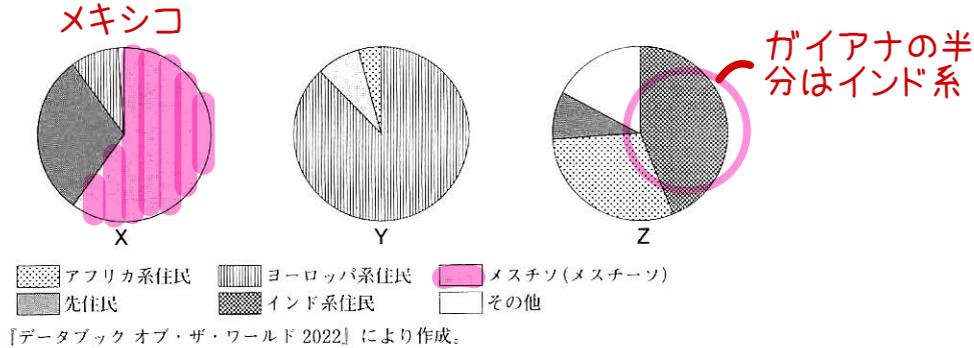


図 4



図 5

g 植民地時代にプランテーション労働力として奴隷を強制的に移住させ、奴隷制の廃止後は契約移民を多く受け入れた。ガイアナ

h 高原に栄えていたアステカ文明は、スペイン人によって征服され滅亡し、ヨーロッパ系住民の入植が進められた。メキシコ

i 金や銀などの鉱山が存在しないことなどから開発が遅れたが、独立後にヨーロッパ系住民の移民が多く流入した。ウルグアイ

アンデス山脈(新規造山帯)

	①	②	③	④	⑤	⑥
X	g	g	h	h	i・	i・
Y	h	i	g	i	g	h
Z	i	h・	i	g	h・	g

3か国とも人口は少なく、国名だけ覚えておこう。肉や大豆が中心。

第4問 ロシアとその周辺に関する次の問い(問1~6)に答えよ。(配点 20)

問1 後の①~④の文は、次の図1中のA~Dのいずれかの地域について述べたものである。図1中のDに該当するものを、後の①~④のうちから一つ選べ。

19



図 1

- ① 古生代中期から後期にかけて造山運動がみられた地域で、山脈の平均標高は600m前後である。A
- ② 沈み込み型の狭まるプレート境界付近に位置しており、世界のなかでも活発な火山活動がみられる地域の一つである。Dカムチャツカ半島
- ③ プレート衝突の力で再び隆起した標高が7000mをこえる山脈が位置しており、万年雪を抱く山々が連なり山岳氷河が発達している。Cアルプス山脈
- ④ 中生代末から新生代にかけて造山運動がみられた地域で、周辺には地域を代表する油田の形成がみられる。Bカフカス山脈
バクー油田

問2 次の文ア・イは、図1中に示されたE~Hの国々でみられる小麦または綿花のいずれかの栽培の様子について述べたものである。また、後の表1は、図1中のE~Hに示した国におけるそれぞれの作物の生産量を示したものであり、 $x \cdot y$ にはア・イの作物のいずれかがあてはまる。小麦に該当するものの正しい組合せを、後の①~④のうちから一つ選べ。

20

5 小麦の生産(万t)	
国名	2020
世界	76,093
中国	13,425
インド	10,759
ロシア	8,590
アメリカ合衆国	4,969
カナダ	3,518

FAOSTAT

8 小麦の輸出(万t)	
国名	2020
世界	19,853
ロシア	3,727
アメリカ合衆国	2,613
カナダ	2,611
フランス	1,979
ウクライナ	1,806

FAOSTAT

ア 年降水量500mm程度が栽培適地であり、肥沃な黒土が分布する地域での栽培が盛んである。

イ 生育期の高温多雨と収穫期の乾燥が最適な作物であり、栽培のための灌漑が周辺の環境に大きな影響を与えているところもみられる。

綿花 インドのデカン高原など

表 1

(単位: 万トン)

	x	y
E	7,214	—
F	2,465	—
G	1,394	11
H	541	76

統計年次は2018年。
『データブック オブ・ザ・ワールド 2021』により作成。

	①	②	③	④
小麦の栽培の様子	ア	ア	イ	イ
小麦の生産量	x	y	x	y

問3 次の図2は、ロシア国内を横断する鉄道を示したものである。沿線に位置する都市について述べた文として適当でないものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 21



図 2

サハ共和国の
オイミヤコン
WR -71.2度

- ① ロシアの首都で政治、経済の中心であるモスクワは、東ヨーロッパ平原の中央部に位置する都市である。
- ② ② 西シベリア低地に位置しシベリア開発の拠点として発展したノヴォシビルスクは、国内での最低気温を記録した都市である。
- ③ バイカル湖から流出するアンガラ河岸に位置する都市であるイルクーツクでは、豊富な水力発電によるアルミニウム工業などが行われている。
- ④ シベリア鉄道の終点で日本海に面するウラジオストクは、流水の接岸がみられず年間を通じて船舶が出入できる不凍港である。

頻出

問4 ロシアには多くの少数民族が生活しており、その居住地域には共和国や自治管区などが設けられている。次の図3中のL～Nはタタールスタン共和国、チェチェン共和国、ネネツ自治管区のいずれかであり、後のカ～クの文は、それぞれの共和国や自治管区を中心となる民族について述べたものである。L～Nとカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22

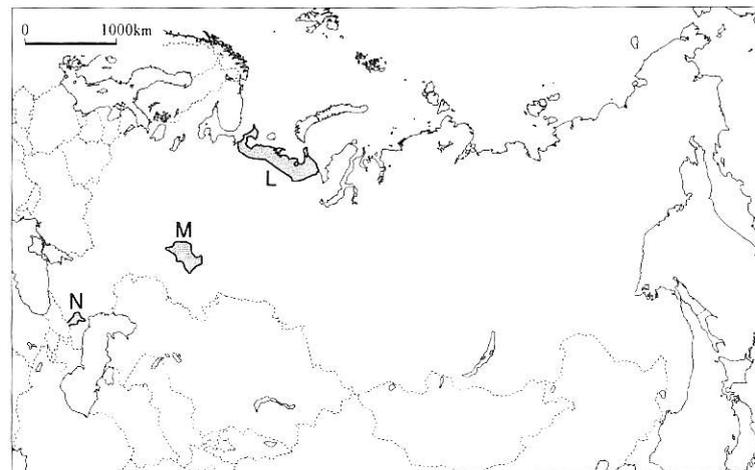


図 3

- カ 伝統的には移動を行いながら遊牧や狩猟、漁労などを行ってきた民族であり、現在は定住している人々が多い。
- キ トルコ系の言語を話す民族でイスラームを信仰する人々が多いが、ソ連時代には宗教に対する抑圧もみられた。
- ク 多様な言語や宗教がモザイク状に混在する地域に居住する民族で、ソ連崩壊以降ロシアからの独立をめぐる紛争が続いている。 カフカス山脈周辺

	①	②	③	④	⑤	⑥
L	カ●	カ●	キ	キ	ク	ク
M	キ	ク	カ	ク	カ	キ
N	ク●	キ	ク●	カ	キ	カ

問5 次の図4は、北極を中心とした正距方位図法で描いた地図の一部である。北極海をはさんで対峙してきたロシアとアメリカ合衆国との関係について述べた後の文X・Yの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 23



図 4

X 現在、アメリカ合衆国を中心として発足したNATO（北大西洋条約機構）には、かつてソ連の一部を構成したバルト3国が加盟している。○
 Y ロシアとアメリカ合衆国はともにTPP（環太平洋パートナーシップ協定）に加盟しており、太平洋地域における貿易や投資の自由化を進めている。✕

	①	②	③	④
X	正	正	誤	誤
Y	正	誤	正	誤

米露中が加盟していない
EUを離脱した英国が加盟

問6 次の表2は、1990年と2019年における、ロシアの輸出額上位5品目と輸出相手国上位4か国及びそれぞれの輸出総額に占める割合を示したものであり、PとQは1990年または2019年の輸出品目のいずれかを、サとシは1990年または2019年の輸出相手国のいずれかを示している。2019年の輸出品目と輸出相手国との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 24

プーチンの
資源外交

表 2

輸出品目	(単位：%)	
	P	Q
原油	28.6	機械類 35.0
石油製品	15.7	原油と天然ガス 14.7
鉄鋼	4.5	化学品 10.6
石炭	3.7	軽工業品 8.1
機械類	3.4	鉄鉱と鉄鋼 6.9

輸出相手国 **旧ソ連**

	(単位：%)	
	サ	シ
ウクライナ	27.1	中国 13.4
ベラルーシ	8.7	オランダ 10.5
カザフスタン	8.5	ドイツ 6.6
リトアニア	3.5	ベラルーシ 5.1

1990年における統計はソビエト連邦である。
 『データブック オブ・ザ・ワールド 2022』などにより作成。

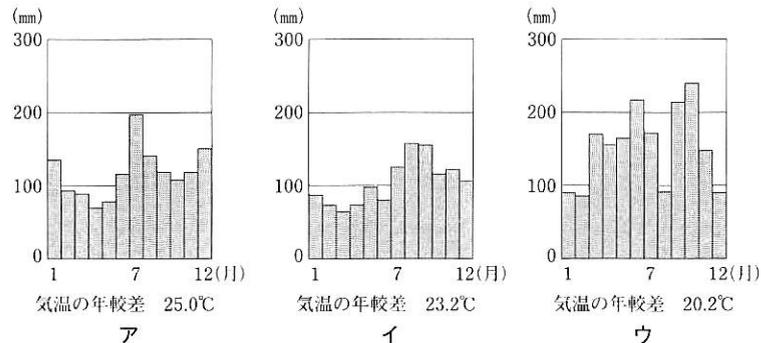
	①	②	③	④
2019年の輸出品目	P	P	Q	Q
2019年の輸出相手国	サ	シ	サ	シ

第5問 地理研究部のナルホさんとモエさんは、山形県寒河江市を中心として、朝日町、大江町、河北町、西川町の1市4町で構成される西村山地域について調査を行った。次の図1をみて、この地域調査に関する後の問い（問1～6）に答えよ。
 (配点 20)



図 1

問1 ナルホさんは寒河江市周辺の地域とほかの地点との気候の違いを知るために、東経140度付近の3地点の気候を調べた。次の図2は3地点における月別降水量の平年値と気温の年較差を示したものであり、ア～ウは北海道松前町、寒河江市付近の大江町、千葉県鴨川市のいずれかである。地名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 25



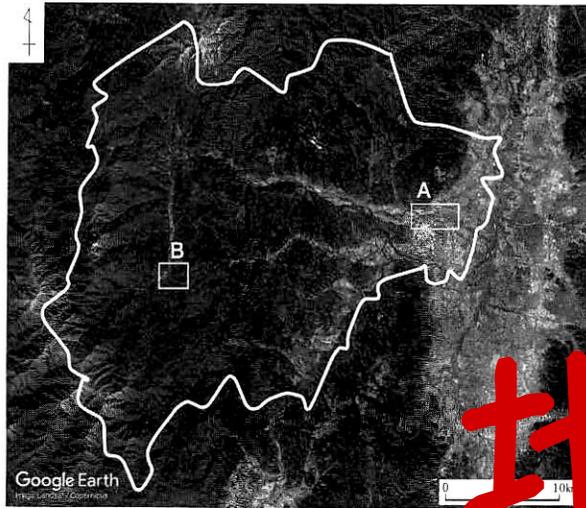
気象庁資料により作成。

図 2

地理 A

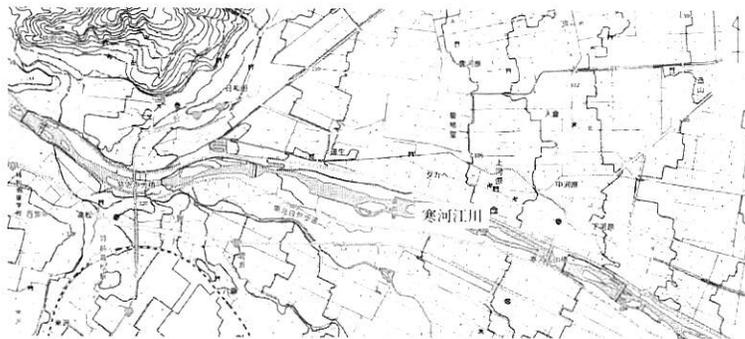
	①	②	③	④	⑤	⑥
松前町	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
大江町	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
鴨川市	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問2 モエさんは図1に示された地域を撮影した図3の衛星写真と、図4と図5で示した地形図で調べ、図3中の東部と西部の地形の特徴を説明した後の文IとIIにまとめた。文中の下線部に誤りを含むものをすべて選び、その組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 26



Google Earth Pro により作成。

図 3 衛星写真



地理院地図（一部改変）により作成。

図 4 図3中のAの範囲の地形図



地理院地図（一部改変）により作成。

図 5 図3中のBの範囲の地形図

地理A

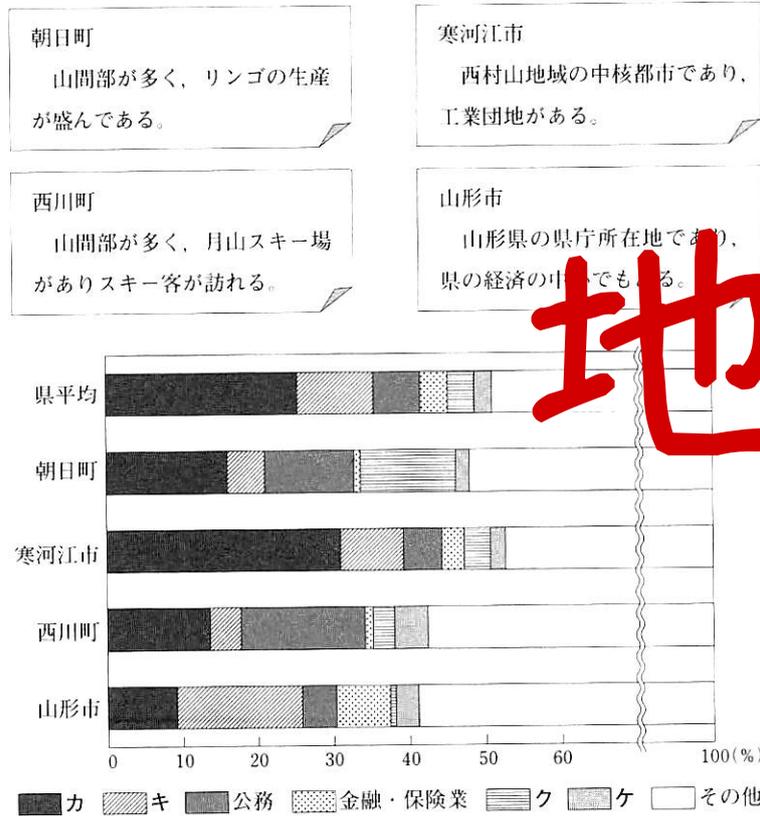
- I 図3の衛星写真の東部には南北に広がる盆地があり、Aの範囲を示す図4の地形図の等高線の描かれ方やその周囲の衛星写真の様子から読み取ると、盆地へ流れ込む寒河江川によって形成された扇状地があることがわかる。
- II 図3の衛星写真の西部には山地が多く、Bの範囲を示す図5の地形図で等高線の描かれ方から読み取ると、中央部にある西川町と大江町の行政の境界が山の尾根沿いとなっており、地形図中の東部の川と西部の川の分水界となっていることがわかる。

- ① IとII ② I ③ II ④ 誤りを含むものはない

(下書き用紙)

問3 ナルホさんは、朝日町、寒河江市、西川町、山形市における産業の様子を比較するために、それぞれの市町の特徴を説明する次のカードをつくった。また、後の図6は市町別の産業別総生産額割合を県平均と比較したものであり、カ〜ケは卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、製造業、農林水産業のいずれかである。キに該当するものを、後の①〜④のうちから一つ選べ。 27

地理Bの試験問題は次に続く。



統計年次は2018年
山形県資料により作成。

図 6

- ① 卸売・小売業 ② 宿泊・飲食サービス業
- ③ 製造業 ④ 農林水産業

地理A

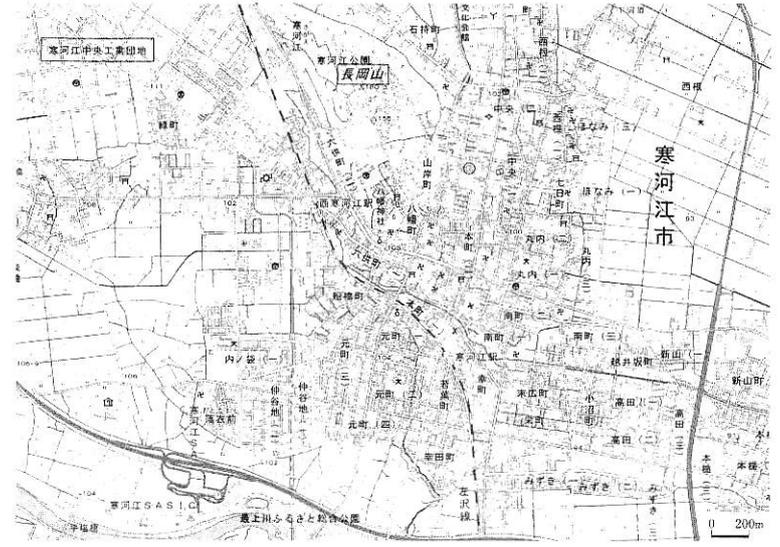
〔 120 〕

問4 モエさんは、寒河江市周辺の地域の変化を知るために、新旧の地形図を調べた。次の図7と図8から読み取れる変化について述べた文として正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 28



2万5千分の1地形図（1934年発行）、原寸。

図 7



地理院地図（一部改変）により作成。

図 8

- ① 寒河江川南西側の桑畑が、養蚕業の衰退とともにすべて市街地へと変化した。
- ② 複数の役場がみられたが、現在ある市役所は、旧市街地に建設された。
- ③ 寒河江中央工業団地は、広がっていた水田が整地され、造成されたものである。
- ④ 長岡山の山頂部には公園が整備されたが、北斜面の土地利用は変わっていない。

地理A

問5 ナルホさんたちは、朝日町、大江町、河北町、寒河江市、西川町の1市4町で構成される西村山広域行政事務組合の事務所を訪れた。後の会話は、資料1～4をみながら、この事務組合の業務について職員の方に聞き取りを行ったものである。資料1は組合管内における車両の配置状況、資料2は組合管内における救急出動状況、資料3は全国及び山形県のごみの排出量、資料4は山形県内35市町村の1人1日当たりのごみ排出量とリサイクル率に関して示している。会話文中の下線部①～④のうちから、**適当でないものを一つ選べ。** 29

資料 1 車両配置状況

(単位:台)

配置場所	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学消防車	救助工作車	高規格救急車	指揮車	原因調査車	査察広報車	支援助車	事務連絡車	資機材搬送車	ポトトレイラー	合計
消防本部						2	1	1					4
消防署	2	1	1	1	4				1				10
河北分署	2				1								3
大江分署	1				1								2
朝日分署	1				1								2
西川分署	1				1								2
合計	7	1	1	1	8	2	1	1	1	2	1	1	27

資料 2 事故種別年齢区分別搬送人員

(単位:人)

事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送等	その他	合計
新生児										1	3		4
乳幼児				4			14			40	2		60
少年				11		10	7			29	2		59
成人	3			80	28	5	60		9	364	105		654
高齢者	1			63	8		313	2	1	1,293	333		2,014
合計	4			158	36	15	394	2	10	1,727	445		2,791

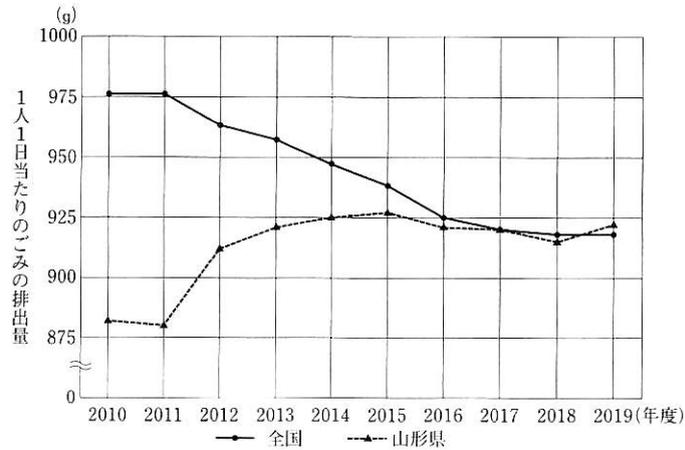
統計年次は、資料1は2021年4月、資料2は2020年。
資料1・2ともに西村山広域行政事務組合資料により作成

ナルホ 「この事務組合のおもな業務は何ですか」
職員 「この組合は1972年に設立され、1市4町の消防及び救急業務、河北町以外の衛生処理場の運営事務を行っています。消防・救急は、寒河江市にある本署から各町の分署へ指令回線を持ち、緊急時に対応しています。予算も本署、分署を含めて計上しています」
ナルホ 「資料1をみると、①普通ポンプ車、高規格救急車をすべての分署に配置し、各地域へサービスが提供できるようになっていますね。また資料2から救急の搬送人員については、②高齢者の急病搬送の人数は、すべての種別の合計搬送人員の5割をこえ、ほかの事故種別年齢区分別搬送人員に比べ割合が高いことがわかりますね」

地理 A

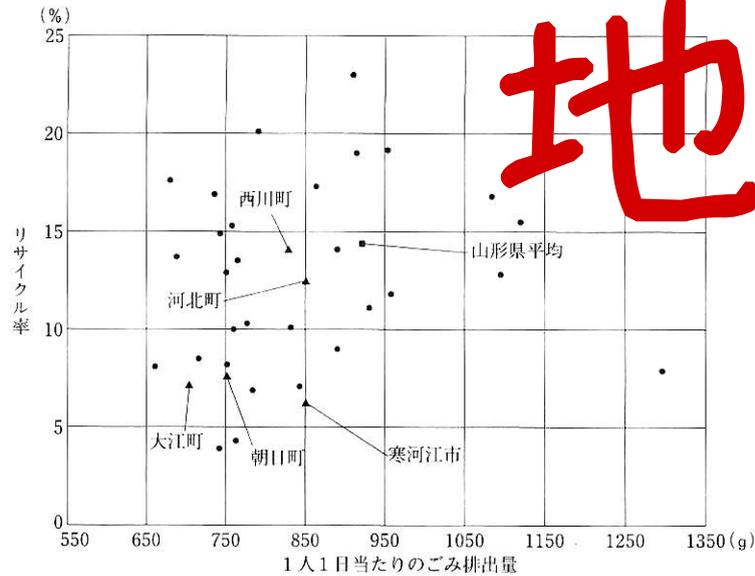
〔122〕

資料 3



山形県資料により作成。

資料 4



リサイクル率=(直接資源化量+中間処理後資源化量+集団回収量)÷(ごみ処理量+集団回収量)×100
 山形県内 35 市町村と山形県平均値を表示。
 統計年次は 2019 年。
 山形県資料により作成。

職員 「寒河江市にある衛生処理場では、地域内のごみ処理と資源回収をしています」

モエ 「資料3にあるように近年の1人1日当たりのごみの排出量については、2010年度に比べて③全国的には減少していますが、山形県全体では増加していますね。また資料4から、2019年度の山形県内における市町村別のごみの排出量と、リサイクル率の図でみると、この1市4町は、④1人1日当たりのごみ排出量は県平均より少ないものの、リサイクル率も県平均より低いことがわかりますね」

職員 「今後資源回収の取り組みを進めて、ごみゼロやまがた県民運動をさらに進めていきたいと思っています」

人 「ありがとうございました」

地理 A

問6 ナルホさんとモエさんは、次の表1の読み取りを行い、その結果を発表しようと考えた。ナルホさんとモエさんとの後の会話文中の下線部サ～スについて、正誤の組合せとして正しいものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 30

表 1 通勤・通学者の寒河江市への流入数、寒河江市からの流出数（人）

	寒河江市への流入数	寒河江市からの流出数	増減数
朝日町	578	251	327
大江町	1,072	712	360
河北町	1,425	1,136	289
西川町	633	319	314
山形市	2,057	4,142	- 2,085

統計年次は2015年。
総務省資料により作成。

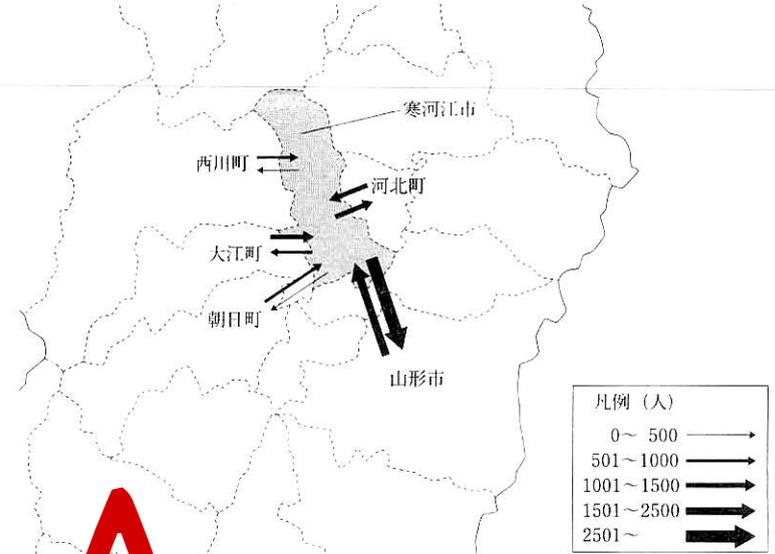


図 9

ナルホ 「この表中の流入数は、寒河江市に通勤・通学するために入ってくる人数、流出数は寒河江市から通勤・通学するために周辺町へ移ってくる人数だね」

モ エ 「なるほど。寒河江市は山形市を除いて周囲の町から寒河江市へ通勤・通学で流入する人数のほうが、寒河江市から流出する人数より多いのわかるね」

ナルホ 「寒河江市と山形市については、通勤・通学者が周辺町から寒河江市へ流入する一方、寒河江市からは山形市へと流出している様子

モ エ 「これを図9にしてみたよ。このように、流線図は始点と終点を示すもので、矢印の太さで移動人数を表現するとわかりやすいね」

地理 A

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
サ	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
シ	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
ス	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤